

スマートビルプラットフォームの学内利用課題の募集について（ご案内）

立命館大学 SoS 運用推進室内 運営委員会
SoS 社会実装タスクフォース

本学では、2022-2024 年度に実施してきた国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) からの委託/助成事業(※1)において、学生、企業、自治体・地域住民など多様な人が行きかう立命館大学 大阪いばらきキャンパス (OIC) をリビングラボ(※2)として活用し、BIM 等から抽出されるビル情報やフィールド層の機器、サービスロボット、利用者に識別子 (ID) が定義されるデジタルインフラを整備してきました。またその上で、新サービス創出を実現しようとする異なる運用者間でデータを共有・更新できるデータ連携基盤として、スマートビルプラットフォームを構築しました。

2025 年度には、これまでに構築してきたスマートビルプラットフォームの利活用に向け、研究目的でのトライアル利用を実施しておりましたが、このたび 2026 年度分の学内利用課題の募集をいたします。

- ※1 委託事業「産業DXのためのデジタルインフラ整備事業／複雑なシステム連携時に安全性及び信頼性を確保する仕組みに関する研究開発／SoS時代のシステムの安全性・信頼性とイノベーションの両立に向けたデジタルインフラ整備及びガバナンスのあり方に係る研究開発」、及び助成事業「産業DXのためのデジタルインフラ整備事業／人・ロボット・システムを有機的に結合するスマートビル基盤に関する研究開発／新サービス創出に向けたデータ連携基盤」
- ※2 リビングラボとは、立命館大学のキャンパスを実証フィールドとした、ルールを含めた「社会システム」の実証実験環境です

1. 募集内容

対象	立命館大学 大阪いばらきキャンパス(H 棟)におけるスマートビルプラットフォームを研究目的にて利活用する方 なお、 <u>申請者代表者は、本学の本務教職員(※3)</u> とし、学内者のみで利用する場合を対象とします (学外企業等との共同研究利用は本申請の対象外とします)。
利用期間	2026 年 10 月 1 日 から 2027 年 1 月 31 日
利用条件	次のすべての条件を満たすこと ・スマートビルデータ取得にあたっては Microsoft Azure(重量課金制)を利用していることから、利用料金は想定利用量に応じたデポジットを事前に預け入れる方式とし、当初想定額を超過した場合はその実費に基づく料金を負担すること。 (基準利用料金：96,800 円(税込)，4 ヶ月分) ・2027 年 2 月 28 日までに、本利用期間分の成果報告書を提出すること。 なお、申請書類に基づき、運営委員会 (SoS 運用タスクフォース) において審査を行います。

受付期限	2026 年 9 月 17 日（木）正午
申請書類 (指定書式)	<掲載先> https://fp.ritsumei.ac.jp/facultyportal/s/r-information/a0efD00001Q6mdaQAB/i0054409209 1) スマートビルサービス企画書 2) データ利用申請・取得計画書 3) リスクアセスメントチェックシート なお、スマートビルデータ以外に、機器等を設置、または共用部において自律移動する機器等を使用した申請をされる場合は、上記に加えてリビングラボ利用に係る書類も必要です。対象の方は詳細を案内しますので、ご相談ください。 * 申請内容によって上記以外の書式もご提出いただく場合があります。
提出方法・提出先	下記の事務局メールアドレスへ、申請代表者よりメール添付にて提出 idx-agpf@st.ritsumei.ac.jp

※3 本申請代表者として資格のある本務教職員は、立命館大学の教授、准教授、専任講師、任期制教員（教授・准教授・講師・助教）、特別任用教員、特命教員、特任助教、特別契約教員（教授・准教授）、特別招聘教員（教授・准教授）、特別招聘研究教員（教授・准教授）、研究教員（教授・准教授・助教）、研究職員（専門研究員、研究員）とします。

2. 審査結果の通知

審査結果の通知については、2026 年 9 月末までに申請代表者にメールにて通知します。

3. 申請書類および個人情報の取扱い

- 1) 申請書類等の提出物は本制度の運用の目的にのみ利用します。
- 2) 申請書類等より取得した個人情報は、本プログラムの運用以外の目的には利用しません。

4. 問い合わせ先

SoS 社会実装タスクフォース事務局

西尾信彦（情報理工学部）・岩崎

Mail : idx-agpf@st.ritsumei.ac.jp

以上